



阿南道路 4車線化工事始まる



一般国道阿南道路で、国土交通省四国地方整備局徳島河川国道事務所による那賀川大橋付近の4車線化工事が始まりました。工事区間は、那賀川町中島交差点付近から西路見町江川交差点付近までの約2.1kmで、現在は、中島交差点付近の高架橋を整備するための道路改良工事などが行われています。

那賀川大橋付近は、沿道からの出入り車両が多く、朝夕の通勤時間帯などに慢性的な渋滞が発生しており、平成24年度補正予算に事業費が計上されたことを受け、昨年11月下旬から現地にて本格的工事に着手。同事務所では、将来的にも交通量が増える見込みであることから、一日も早い完成をめざしたいとしています。

官民一体で地域医療体制の確立を支援 「阿南市地域医療確立対策協議会」発足



12月20日、阿南医師会中央病院と阿南共栄病院との統合を支援し、地域の医療資源の集約化による効率的な医療提供体制の確立をめざす官民一体の組織「阿南市地域医療確立対策協議会」が発足しました。

設立会議は市役所で行われ、阿南市のほか那賀町、美波町から各種団体の長など39人が出席。会長に阿南商工会議所会頭の平尾勲雄さんを選出し、事業計画(案)などについて協議しました。平尾会長は、「新しい医療施設の設定を側面から支援していきたい」と力強くあいさつし、協力を呼びかけました。

今後は、関係機関と連携を図りながら、国などに効果的な要望活動を行い、事業の促進を図ることにしています。

ゆるキャラ人気投票のお礼 小中学生にPRグッズをプレゼント



阿南市イメージアップキャラクター「あななん」が市内の小中学校を訪れ、「ゆるキャラ」人気投票に協力してくれたお礼として、児童・生徒の皆さんに「あななんPRグッズ」をプレゼントしました。

12月20日、富岡小学校の全校集会にサプライズ出演した「あななん」は、自己紹介をした後、肩からつるしたポシェットから「あななんシール」を取り出し、全校児童にプレゼント。児童を代表してシールを受け取った米田優哉さん(6年)は「使うのがもったいないので家に飾っておきたい」とうれしそうに話していました。「あななん」は阿南中学校にも訪れ、「あななんメモ帳」をプレゼントしました。

句会で子どもたちの感性を養う



12月6日、羽ノ浦小学校で「次代を担う子どもの文化芸術体験事業(文化庁)」が行われ、阿南ふるさと大使で俳人の大高 翔さんによる句会が開かれました。子どもたちは「気持ちの伝わる俳句の作り方」について学んだ後、4人1組で句を詠み合い、代表者が自分以外の気に入った作品を発表しました。

「友達とどの手冷たい? 競い合う(6年・梶本莉加さん)」を紹介した白川芽生さん(6年)。「冬にしかできない競争をしている姿が目に見え、ほほ笑ましく感じました」と評価しました。大高さんは、「句会は、他人の感性に触れられ、豊かな人間性を育みます。上手な句を作ろうとせず、自分の気持ちを誰かに伝えたいという思いを大切にしてほしい」と話していました。

795人が晴れて大人の仲間入り



1月12日、市民会館で行われた「平成26年阿南市成人式」には、該当者795人(男性433人、女性362人)のうち616人の新成人が出席して、旧友との再会を喜び、新たな決意を胸に大人への一步を踏み出しました。岩浅市長は「若い皆さんには素晴らしい未来が待っています。いろいろなことに果敢に挑戦してほしい」と激励。新成人代表の平井里奈さん(那賀川町)は、「大人として行動に責任を持ち、ふるさとの誇りや今日の決意を忘れることなく、前進していきたい」と二十歳の誓いを述べました。式は、新成人や高校生・市民スタッフにより運営され、艶やかな振袖や袴に身を包んだ新成人の皆さんは、スライド形式で上映された中学生の頃の写真を楽しむなど、手作りの式を満喫していました。

動物とふれあい 命の大切さを学ぶ



動物とのふれあいを通して動物愛護への理解を深め、命の大切さを学ぶ「動物ふれあい移動教室」が1月7日に郡教育集会所で行われ、宝田人権ふれあい子ども会の小中学生など17人が参加しました。

子どもたちは、徳島県動物愛護管理センターの職員から、県内で1年間に3000頭以上もの犬猫が捨てられている現状や動物との正しい接し方、家庭で飼う際の注意点についてくわしく学びました。同センターで保護されている犬や猫、うさぎとふれあった子どもたちは、「犬や猫がたくさん捨てられているなんてすごく悲しい」「動物はきちんと責任を持って飼うべきだと思いました」などと話し、命の大切さや重みを実感していました。

橋の長寿命化・耐震化工事進む



高度経済成長期に集中整備された橋の寿命を延ばすため、市では、橋長15メートル以上の重要な橋について「長寿命化修繕計画」を策定し、年次計画的に修繕工事を行うことにしています。工事は、市が管理する74橋のうち、10橋を先行して行う予定で、現在、岩戸橋(新野町)などで橋桁の補修や伸縮装置の取替、高欄補修などを施工しています。また、文化橋(柳島町)をはじめとする13橋において耐震化工事を進めています。

いずれの橋も、それぞれの地域生活を支え、災害時には避難路や緊急物資輸送路となる重要な市道に架かるものであることから、早期に対策が講じられるよう、積極的に取り組むことにしています。

男性がクリスマスケーキづくりに挑戦



男性に家事を担うきっかけにしてもらう「男性料理教室」が12月24日にひまわり会館で行われ、男性たちがクリスマスケーキづくりに挑戦しました。作るのは、まきの形に見立てたフランスのケーキ「ブッシュ・ド・ノエル」。参加した24人は、料理研究家の渡辺純子さんから作り方の説明を聞いた後、4~5人のグループに分かれ調理。ロールした生地チョコレートを塗り、粉砂糖を振り掛け、雪をかぶったような冬らしいケーキに仕上げました。ケーキづくりは3回目という越久村正明さん(77歳・上中町)は「自分で作ってみなければ料理の良さや大変さはわかりません。こうした機会に交流を深めるのも意義深いものです」と話していました。